



べつかい

57

2011.5.1

北海道別海町議会

議会だより



厳しい冬のあとには必ず明るい春がやってきます（本別海の桜）

主な内容

特集 平成23年度予算審議 福祉牛乳支給年齢引き上げ凍結 ……2～ 3

自治基本条例（町の憲法）を決める …… 4

町政のここが聞きたい

一般質問（中村・佐藤・瀧川・丹羽の4議員） ……7～13

シリーズ

●協働のまちづくりへ「別海町消費者協会」 ……14

初の町民との意見交換会を開催

11月29日・12月1日

議会の活性化と町民に開かれた議会活動を目指し、議会と町民との意見交換会が三会場で行われました。

各会場に議会から正・副議長、議会運営委員会委員と、一会場四名の担当議員の計十名が参加しました。

三会場ともに議会運営委員会から議会活性化についての取り組みと三常任委員会からの活動報告がされ、それに対する質疑、意見の集約を行いました。

また、議員定数・報酬に対する意見などを聴き、町に対する質問や要望など、即時回答のできないものは後日文書ですることになりました。各会場で出された質問・回答を要約して掲載します。

【尾岱沼会場】

質問

当町の議員定数・報酬は全国、全道でどのくらいの位置にありますか。

答え

定数は法定の上限值で、当町の人口から十二人ですが、平成十九年から条例で定数は十八人となっています。管内では中標津町が

を重ねています。

質問

秋サケ漁が著しい不漁です。原因は特定できませんが、河畔林が足りないのでは。

答え

魚をばぐくむ森づくり事業、国営かん排、中山間事業が行われ、環境保全団体も植林をしています。今後も川の保全に努力します。

質問

平成二十二年二月のチリ地震の際の避難勧告で、警察による交通規制が行われました。そのことによつて白鳥台に避難できないなど、種々不具合がありましたか。

答え

このことについては一般質問で取り上げていますが、「議会だより」五十五号、町も警察との連絡がスムーズでな

く、大きな反省点としてあります。

また、海岸線に設置されている九基のカメラの活用、尾岱沼・別海港にカメラを設置することも町では検討中です。

【西春別会場】

質問

小中学校の耐震化の現状は。

答え

小中学校は対象校の六校全て耐震診断を終え、補強工事もほぼ終了しています。

別海小学校屋体は未実施で、別海中学校との共同使用できる体育館を建てるか検討中です。

中学校は、対象校は五校で、中春別中学校は改築の予定です。

上西春別中学校は町の六次総合計画により建て替えを予定しています。

質問

臨時職員が多く、町民に対する行政サービスの低下が心配されます。

答え

決算審査特別委員会でも取り上げられています。

財政も大事ですが、基本的に正職員を育てていくことが大切です。職員が不安なく働けるよう、町側とも協議します。

質問

自治基本条例の策定にあたり、検討委員会に議員も入れるべきでは。

答え

議会に関する部分については議会運営委員会、全員協議会で検討し、総体については、総務建設常任委員会で議論を重ねています。



開かれた議会を目指して！

《議員定数について》

現状が良い。その理由としては

- 一、削減すると住民の声が届きづらくなる。
 - 二、面積が広く、集落が多いという当町の特徴がある。
 - 三、チェック機能が低下する。
- などの声が大半を占め、議員の資質向上に対する意見もありました。

その他、光進小中学校の廃校後の利活用、人口流出、森林整備計画策定に関する意見などが出されました。

【別海会場】

質問

防衛大綱による自衛隊の縮小が懸念されませんが。

答え

当町にとって重大な問題であり、現状維持を要請した意見書を国に提出しました。

質問

老後を安心して過ごせる特養の建設を。

答え

特養の改築は、平成二十三年度に基本構想の作成、二十七年ごろに運営開始を目指していますが、国の補助金など今後の検討課題が残っています。

改築にあたっては、ベッド数百床の施設を検討していますが、その七割をユニット型個室型）にしなければならず、介護員の増員、利用料が高くなることなどが懸念されています。

質問

水産業の安定化のため、根付資源による生産性の向上を。

答え

根付資源について、ホタテは安定しています。ホッキ・アサリも成果を上げていますが、

ニシン・ウニについては成果を見守っている状況です。

質問

ＴＰＰ問題は、北海道農業の崩壊につながります。断固阻止する運動が必要です。役場庁舎に横断幕を張ってほしいと思います。

答え

中央要請、意見書の提出など強力な阻止運動を展開しています。（横断幕は直ちに懸垂されました。）

《町に対する質問・提言事項》

- ・エゾシカ対策で、駆除数が六百頭では少なすぎます。一頭あたりの捕獲奨励金を下げてでも駆除数を増やすべきです。
- ・道路の維持管理について、コンクリート溝の砂取り、縁石付近の雑草の除去など、今後の対応は。

- ・大学・研究機関などを誘致する考えは。
- ・バスの運行時間などを工夫することで接続をスムーズにしたり、より便利になります。町民のアイディアを取り入れてほしいです。

などの発言がありました。議員定数・報酬については、賛否両論がありましたが、議会で十分議論してほしいとのことでした。

以上、三会場での意見・要望などを要約しましたが、意見交換会の実施について、会場数・時期に対しての要望がありました。

議会運営委員会では、来



初の意見交換会 第一歩を踏み出しましたが反省点もあり次回に活かしたい

年度からの開催について検討を進めることにしています。まずは、一步を踏み出しましたが、町民の皆様から、より多くの声を寄せていただき、議会の活性化と町民との協働の町づくり役立てたいと考えています。

12月 定例議会

12月14日～17日開催

12月定例議会は、12月14日から4日間の会期で開かれました。審議のようすをお伝えします。

各会計補正予算が審議され、全員の賛成で可決されました。

指定管理者の指定 を承認しました

平成二十三年三月三十一日をもって満了する施設の指定管理者を引き続き指定することを承認しました。

指定管理期間は、平成二十八年三月三十一日までの五年間です。

- ケアハウスみどり野 別海町社会福祉協議会
- 高齢者生活ハウス 道東あさひ農業協同組合
- 西春別デイサービスセンター 西春別農業協同組合
- 道東あさひ農業協同組合 酪農研修牧場 有限会社別海町酪農研修牧場
- 農業団地センター兼 農業者トレーニングセンター 中春別農業協同組合
- ウニ種育苗センター 別海町ウニ種育苗センター管理組合
- ニシン種苗生産センター 別海町ニシン種苗生産センター代表組合



太陽光発電の予算が350万円増額されました

平成22年度 補正予算

補正額	予算総額
一般会計（4回目の補正）	
7,790万円 減	153億8,680万円
介護サービス事業特別会計（3回目の補正）	
1,446万円 減	8億9,650万円
病院事業特別会計＜収益的支出＞（2回目の補正）	
8,994万円 減	17億5,889万円
水道事業会計＜収益的支出＞（2回目の補正）	
628万円 減	5億2,537万円

一般会計の主な補正（歳出）

- 住宅用太陽光発電システム補助金 350万円増額
- 介護サービス事業特別会計繰出金 742万円減額
- 子ども手当 1,429万円増額
- 別海病院事業会計負担金等 8,705万円増額
- 中山間地域等直接支払交付金 3,240万円減額
- ミルクローリー車導入事業補助金 800万円増額
- 畜産担い手育成総合整備事業再編整備型償還金 4,647万円減額
- 秋サケ不漁特別対策事業補助金 4,000万円増額
- 地域貢献中小企業支援事業補助金（エコ型住宅の助成） 1,000万円増額

- 根室北部消防事務組合負担金 2,080万円減額
- 職員給与費（給料・期末勤勉手当等） 6,106万円減額

介護サービス事業特別会計の主な補正（歳出）

- 職員給与費（給料・期末勤勉手当等） 1,558万円減額

病院事業会計の主な補正（支出）

- 職員給与費（給料・期末勤勉手当等） 5,079万円減額
- 材料費 4,808万円減額

水道事業会計の主な補正（支出）

- 職員給与費（給料・期末勤勉手当等） 847万円減額
- 浄水場補修工事 250万円増額

国・道に意見書を提出しました

◆大幅増員と夜勤改善で安全安心の医療・介護を求める意見書

提出者 沓澤 昌廣 議員
他五人

労働条件を抜本的に改善し、看護師等の大幅増員を実現し、安全でゆきとどいた医療・看護・介護の拡充を図るための対策を講ずるよう求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

◆公立義務教育諸学校の教職員定数等に関する意見書

提出者 松原 政勝 議員
他五人

少人数（三十人）学級は、多くの子ども、保護者、教職員、自治体の切実な願いであることから、国の責任において少人数学級実現・複式学級改善の計画を速やかに実施することなどを求める意見書が提出され、全員の賛成

で可決されました。

◆メドベージェフ・ロシア大統領等の北方領土訪問に抗議を求める意見書

提出者 戸田 博義 議員
他四人

ロシア大統領および第一副首相の相次ぐ国後島などへの訪問に断固抗議し、今後ロシア首脳が北方領土を訪問しないよう強く求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

◆議長の議会招集権及び地方議会議員の位置づけの明確化を求める意見書

提出者 議会運営委員会
佐々木春男 委員長

一部の自治体において、首長が議会を招集せず専決処分を濫用し、議会の機能を封じ込めるなどの事態も発生していることから、地方議会議員の職責・職務を法律上明確にするよう求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

◆B型肝炎問題の早期全面解決を求める意見書

提出者 文教厚生常任委員会
安部 政博 委員長

B型肝炎問題については、最高裁判所が国の責任を認め、和解勧告を行なったが、和解協議が進展せず、感染被害者と国とが、今だ合意に至っていないこ

とから、早期全面解決に向けた、より誠実な和解案を提示するよう

強く求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

◆TPP交渉への参加を行なわないよう求める意見書

提出者 産業常任委員会
戸田 憲悦 委員長

両意見書とも全員の賛成で可決されました。

一般会計補正予算（三回目の補正）を審議しました。内容は、町長等の中国視察費（三百万円）についてです。審議の結果、賛成多数で可決されました。

第五回臨時会
十一月二十九日開催

町長、教育長、議員、職員の手当等を引き下げる条例について審議し、町長、議員については全員の賛成、職員については賛成多数で可決されました。



11月15日と29日、臨時議会が開かれました。審議の概略をお知らせします。

意見書を提出しました

◆北海道開発の枠組の堅持と北海道局の存続に関する意見書

提出者 佐々木春男 議員
他四人

第四回臨時会
十一月十五日開催

平成21年度 各会計決算を審査・認定する

12月定例議会は、決算審査特別委員会（佐藤初雄委員長）の報告を受け討論・採決をし、一般会計・国民健康保険会計・後期高齢者医療会計は賛成多数、ほか4特別会計・2公営企業会計は全会一致で認定しました。

平成21年度各会計決算

	歳 入	歳 出
一 般 会 計	156億3,087万円	150億1,721万円
国民健康保険特別会計	24億9,585万円	24億9,388万円
老人保健特別会計	194万円	169万円
下水道事業特別会計	9億1,372万円	9億1,368万円
介護サービス事業特別会計	8億3,775万円	8億3,747万円
介護保険特別会計	8億7,180万円	8億1,644万円
後期高齢者医療特別会計	1億1,925万円	1億1,849万円
町立別海病院事業会計	17億3,962万円	17億7,585万円
水 道 事 業 会 計	6億8,771万円	4億7,829万円

決算審査特別委員会の報告（概要）

本年度も事前に資料や質問をまとめるなど、質疑の充実と効率的な審査に努めました。指摘した事項は次のとおりです。

一般会計は、黒字決算で財政健全化判断比率を見ても良好な状態です。引き続き健全な財政運営を目指すべきです。町税などの収納環境の整備を図り、一層の収納率向上に努める必要があります。また、団塊世代の職員の多数の退職で、住民サービスの低下が懸念され、人材育成と適

正配置に努める必要があります。国保会計は、一般会計から法定外の繰り入れをし、黒字決算となりましたが根本的な解決となっておりません。町立別海病院事業は、

現在新病院の建設を進めています。十億円を超える累積赤字があり、依然として経営状況は厳しく、健全な財政運営に努めるべきです。

一般会計決算に対する討論

反対意見

（中村議員）

①税金の滞納収納を滞納整理機構に丸投げするやり方は、責任の放棄です。

②一般廃棄物処理について、二十二年度から本格償還が始まり、

各町の負担が増えるなどについての積極的情報開示や、町民に施設の延命と経費削減の協力の働きかけがありません。

賛成意見

（戸田憲悦議員）

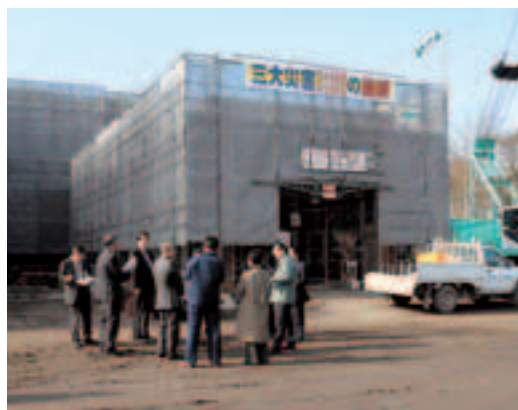
③国営かん排事業の費用対効果の検証をしないで事業を進めていきます。また、多様な技術を選択しづらい仕組みになっていることも問題です。

以上の点を指摘して認定に反対します。

当町は自主財源が乏しく非常に窮屈な財政運営をしている中、実

質収支約五億八千万円の黒字となっております。このことは国の交付税などが増額になったこともあり、人件費や公債費（借入金償還）の削減など経費削減の努力によるものです。

財政指標などの悪化も見られず、今後は長期的な財政健全化に配慮しつつ、地域課題の解決に積極的な姿勢で臨まれることを期待して認定に賛成します。



町民の安心・安全を支える町立病院の建設が進む

町政の ここが聞きたい

12月定例議会では第1日目(12月14日)に3議員が、第2日目(12月15日)に5議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。

■戸田憲悦 議員

- 1 町長の2期目の出馬の意思は……………7

■松原政勝 議員

- 1 町の水産業振興対策は……………8
- 2 道内駐屯地の見直しはあるのか……………8

TPP参加に断固反対 3氏(沓澤・西原・佐藤)が質問 ……9

■沓澤昌廣 議員

- 1 草地改良事業を今後どう推進すべきか……………10

■中村忠士 議員

- 1 中小企業振興のため住宅リフォームの助成措置を…10
- 2 矢白別への普天間基地の機能移転の可能性が高まったのでは…11
- 3 公衆浴場確保条例・補助金交付規則の確立を…11

■西原 浩 議員

- 1 中国訪問の成果と今後の展望は……………12
- 2 循環型経済の施策の推進を……………12

■佐藤初雄 議員

- 1 代替バス路線変更で地域の活性化を……………13
- 2 公共施設のバリアフリー化への改善が必要では…13

■丹羽勝夫 議員

- 1 ハサップ取得ではなく道の認証で十分では…14
- 2 郊楽苑を増設する予定は……………14
- 3 「道の駅」の駅名は……………15

■瀧川榮子 議員

- 1 国保税徴収猶予基準拡大の周知を……………15
- 2 高校生の就職・進学支援は……………16
- 3 町の障がい者施策の現状は……………16

戸田議員 町長の二期目の 出馬の意思は

町長 二期目を目指す決意を
新たにしています

戸田憲悦議員

水沼町政二期目に向けた出馬の意思の確認と、重要課題についてお聞きします。

① TPP問題についてどのように考えていますか。

② 中小企業振興基本条例が施行されましたが、どのように進めようとしていますか。

③ 野付半島・走古丹・風蓮湖の海岸線の侵食対策は、緊急課題です。海岸線の生態系は町の自然遺産です。生産基盤であると同時に観光資源でもあります。町の対応は。

④ 新町立別海病院の基盤の強化と経営安定に向けた町長の考え方

は。

⑤ 協働の町づくりに関わる具体的な構想は。

水沼町長

町民との対話を大切に、協働と透明性のある町政を進め、いつまでも謙虚で清潔な政治姿勢を貫きながら、二期目を目指す決意を新たにしています。

質問事項に対しては、具体的にはいずれ時期を見て公約で明らかにしていきますが、今日は基本的考え方を話します。

① TPPの交渉参加には断固反対していきます。

② 中小企業振興条例は、現在商工会や中小企業同友会などが協議

会を設置して提言書の策定を進めていますので、提言書を尊重し振興を図っていきます。

③ 海岸線の保全対策は生産基盤の確保や、自然環境の保全を国・道などの関係機関に積極的に要請していきます。観光については積極的なPR活動、海外からの観光客の受け入れに努力していきます。

④ 新病院の今後のあり方については、町民と行政が一体となり、医師やスタッフが高いモチベーションを保ちながら医療に従事できる環境を整えていく努力をしていきます。

⑤ 協働の町づくりを推進するため、第六次別海町総合計画に掲げた将来像である「笑顔あふれる豊かさ実感のまちべつつかい」を目指し、『まちづくりの主役は町民』の理念のもと、町民の声を反映した行政の推進に全力で取り組んでいきます。

松原議員

町の水産業振興対策は

町長 河川環境保全と

漁場造成など推進します

松原政勝議員

サケ漁は当町の太宗漁業です。漁協は貝類の根付漁業も併せて資源を造成しています。

町の一次産業の一角として水産業を支援していく町長の考えは。

水沼町長

当町の漁業は地域経済を支える基幹産業の一翼を担う重要産業です。つくり育てる漁業や資源管理型漁業の確立により地域の特性を活かした資源の維持増大対策が不可欠です。各漁港整備、造成事業などを推進します。

飯島産業振興部長

従来の漁場造成などは、これからも継続支

河畔林の整備など、温暖化対策の環境整備を進めていく考え方は。

水沼町長

森林はCO₂の吸収源です。また牛の日陰にもなり、河畔林はサケ・マスの資源造成に必要不可欠であり、猛暑対策にもなります。土地所有者の理解をいただきながら植樹事業を続けていきます。

質問

世界的に温暖化が進む中で、当町の一次産業を推進していく為に独自にできる温暖化対策は。

飯島産業振興部長

京都議定書の目標を確実に達成するとともに、地方自治体は中長期的に温室効果ガスの排出量を削減することが求められています。自治体においても施設全体のエネルギーの管理を行っています。

質問

牧草地の境界の植樹



コマイの豊漁で活気あふれる床丹前浜

が必要と考えます。

水沼町長

漁船・漁網の購入など初期費用は極めて高

額です。国の補助制度は共同利用、公共性のある事業に限られています。厳しい漁業情勢から

補助対象の見直し、要件緩和などを、国・道に要望していきます。

道内駐屯地の見直しはあるのか

松原議員

松原政勝議員

町長 体制維持を求め
要請活動をしています

など他部隊への配置見直しが予想されます。道内駐屯地配備の見直しはありますか。町長は国に対してどのような要請活動をしていますか。

水沼町長

平成十六年の防衛大綱決定で北海道の陸上自衛隊の人員装備などが削減されました。「新たな時代の安全保障と防衛力に関する懇談会」が八月に設置されました。この答申を受け、全国基地協議会、北海道自衛隊駐屯地連絡協議会を通じて自衛隊体制維持を求めると要請活動を行ってきました。

北部方面隊は一九五八年には五万三千人の隊員が配備されましたが、二〇一〇年には三万八千人に削減されました。災害発生時の派遣や地域経済への影響など道民生活に計り知れない影響を及ぼすことが懸念されます。町長はどのように受け止めていますか。

水沼町長

北海道における自衛隊の現体制が堅持されるよう、また国内最大の矢野別大演習場を管理する別海駐屯地の隊員の増員と施設の充実に向け、国に対して強く要請していく必要があると考えています。

質問

日本の安全保障の指

新防衛計画大綱で南西諸島防衛を重視する方針が打ち出されたこと報道されています。今後、道内駐屯地の縮小

TPP参加に 断固反対 3氏が質問

沓澤昌廣議員 反対の垂れ幕の設置を

町長 庁舎の正面に設置しました

沓澤昌廣議員
政府は食料自給率五

○%を目標にしていますが、TPPに参加することにより十四%に低下すると言われています。

TPP参加は別海町の酪農にとどまらず、地域の崩壊を招く恐れがあると思います。

具体的な行動として、役場庁舎にTPP参加反対の垂れ幕を設置してはいかがでしょうか。

水沼町長
酪農・畜産および水産業を基幹産業とする当町においては、乳製品などの重要品目ならびに主要水産物を関税撤廃されるといことは、まさに壊滅的な打撃になることが予想され、地域経済の崩壊につながるのには明白であると考えています。

断固阻止に向けてオール別海町で取り組んでいきます。

垂れ幕については昨日役場庁舎の正面に設置しました。

西原議員 JAグループと 連携し反対運動を

町長 オール別海町として
取り組みます

西原 浩議員

TPPに参加すると当町の酪農・畜産は四百九十五億円の影響を受けると試算されています。

JAグループを中心に重点項目を四点取りまとめています。

①組織体制の強化、TPP対策中央本部の設置②国民理解に向けた運動強化③関連団体とのネットワーク構築

④一〇〇〇万人の署名活動などを掲げていますが、当町としての取り組みをお聞きします。

水沼町長

重点項目四点については阻止するにあたって大事なことだと思っています。

当町としても、地域経済を崩壊に導く問題だと思っています。関係団体と十分協議しながら、阻止に向けた国

民運動となるよう、町としてもできる限り協力し、また、主体的・積極的に努力していきます。

佐藤議員 町独自の運動展開を

町長 積極的に参加阻止の
要請をします

佐藤初雄議員

当町の場合、牛乳は全国の六%、北海道の十二%を生産しています。牧草地面積においても、中山間事業で見ると、全国の対象面積の九%近くが対象とされています。いろいろな意味で地域の振興に国の施策を含めて支援

関係団体、議会を含めオール別海町で国などに要請、独自の運動展開が必要と考えます。

水沼町長

TPPの交渉参加には断固反対の立場です。食料自給率五〇%を目標に、農業の担い手に対する支援対策など、必要予算措置を講ずることが最優先です。

今後、経済団体を含め、適切・積極的に阻止へ向け要請を行っていきます。



別海町の存亡がかかるTPP問題

草地改良事業を 今後どう推進すべきか

沓澤昌廣議員

産業振興部長 現行の補助制度で
計画的に進めています

に進めていきます。今後の要請活動として予算の増額が大切です。

また、中山間事業においても、表層攪拌、作溝法などの簡易な更新方法をしながら、牧草地の基盤の長寿化を進めていくことが必要になってきます。



予算縮減の中、草地管理をどうするかが課題

質問

基盤整備事業の予算が六二%削減され、今年度の牧草地改良は千二百五十haに減少しました。

永年草地化が進むと、生産力が低下し、乳牛にも悪影響を及ぼすと思います。

飯島産業振興部長

草地基盤の経年劣化による収量の減少や品質低下を防ぐためにも、土壌診断と適切な施肥設計に基づいた有機肥料や化学肥料による土

壤の活性化を促すことが必要です。

質問

現地の実態を把握して、農家の声を農政に反映してほしいです。

水沼町長

当町は特色ある酪農専業地帯です。地域の酪農振興にどのような政策が必要か、我々の声を届けることが重要です。

今後もしっかり要請活動し、また、いろいろな政策提言を積極的に行っていきます。

中小企業振興のため 住宅リフォームの助成措置を

産業振興部長

幅広く検討していきます

中村忠士議員

平成二十一年三月に町中小企業振興基本条例が制定されました。

条例には、町長や町の責務・役割について「中小企業振興の指針を定める」「中小企業に対する支援など必要な措置を講じる」「中小企業者等の受注機会の増大に努める」としています。一年八か月経ちましたが、どう具体化しましたか。

飯島産業振興部長

町が基本方針を定める前に、中小企業の皆様に、調査やいろいろな意見をまとめて、提言書を提出してもらうよう、策定作業を進め

ています。

質問

町には住宅の耐震化やエコ住宅に関する助成措置があるものの、適用範囲が限られています。ちよつとした改修にも適用されるリフォーム補助の経済効

果は非常に高いです。地元の仕事起し、中小企業振興の観点から、一般住宅のリフォームに関する幅広い助成措置を考えるときにきているのでは。

飯島産業振興部長

エコ住宅改修の際にもそのような声が多く寄せられました。町内業者を入れるということが決め事ですから、経済効果は大きくなります。今後幅広く検討していきます。



別海町の経済の源泉の一つは中小企業です



住宅密集地の中にある普天間基地（写真奥が滑走路）

「沖繩と同質・同量」「分散移転は沖繩の負担軽減になる」は一方で、移転訓練に対する疑問や反対論を抑える単なる口実だったことが改めて明らかになり

質問 沖繩県知事選で再選された仲井眞氏は、普天間基地の国内移設には反対していません。普天間基地の機能移

は年平均千八百五十三発だったものが、県外訓練では二千五百五十八発と一・四倍。沖繩で許されていなかった夜間訓練が、県外五か所の演習場でのべ三百八十九日の訓練日数中、六割で実施。キャンプハンセンでは米軍射撃訓練施設など新たな「痛み」が加わりまし

質問 「沖繩の負担軽減」を理由に海兵隊移転訓練を容認したのは議会であり、町長もその採決に加わっていました。その後の実態をしつかりつかんでいく政治的責任があります。

水沼町長 町としてどこまで調査しなければならぬか、必要性を含め検討していきます。

中村議員 矢臼別への普天間基地の機能移転の可能性が高まったのでは

町長 移転受け入れはできないと判断しています

水沼町長 沖繩県平和委員会がどういう検証をし、どのような発表をしたか承知していないので、見解を明らかにすることはできません。

中村議員 公衆浴場確保条例・補助金交付規則の確立を

福祉部長 支援はしていくが 条例制定までは考えていません

質問 具体計画を立て、全体的な地域で安心して公衆浴場を利用できるような措置を講じていたいただきたいと思えます。公衆浴場確保対策補

田村福祉部長 法律の趣旨を踏まえ住民のための公衆衛生・公益性・公共性などを考え、必要な支援はしていきます。全体計画や年次計画等は持っています。

転について、矢臼別が候補地に上がる可能性がありま

水沼町長 ヘリコプターの訓練等、新たな訓練は、町民の安心・安全や基幹産業への影響等から、受け入れはできないと判断しています。

中村忠士議員 「公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律」は、「公衆浴場が住民生活にとつて欠かすことのできない施設である」とし、町の任務として「公衆浴場の経営の安定を図る」「住民の公衆浴場利用の確保に努める」と規定しています。公衆浴場の確保に関する町の方針は。

水沼町長 銭湯が必要だということ、大きな町民の意見があり、それについては十分理解しています。今後とも今までどおりの支援をしていきます。

田村福祉部長 温泉法改正でのガス対策に町の支援をしたり、福祉入浴券を発行し約一万人が利用するなどのことを実施しています。が、条例については考えていません。

助事業などを行っている自治体があります。たとえば、本別町・福島町・美瑛町・八雲町などでは、補助金交付規則などを確立して支援を実施しています。当町でも「公衆浴場確保対策条例」（仮称）を確立して、経営の安定化を担保するような措置について検討してはどうでしょうか。

西原議員

中国訪問の成果と今後の展望は

町長 観光・産業・人材・

文化の交流です

西原 浩議員

町長は十一月二十一日から二十六日の日程で中国を訪問しましたが、視察の目的は。

有田総務部次長

今回の視察の目的は、地場産品の販路、観光の振興、人材・文化の交流です。今回の訪問で交流の可能性を見極めることができました。

質問

視察先の内容と費用は。

有田総務部次長

瀋陽市人民政府で黄副市長と面会し、農産物の販売、別海町への訪問について協議しま

した。通遼市では高副市長と、友好都市として提携していくための協議をしました。

視察にかかわる費用は百九十三万円です。

質問

上海万博に北海道知事が道産品の販路拡大、北海道フェアの物産展への出品、航空路線の開設に行かれました。

また、中標津

町長も観光振興、観光客の誘致、中標津空港の利用促進のために中国を訪問しています。

このような他の行政機関との



町の発展に活かしたい中国視察
(瀋陽市瀋北地区にて)

連携をどのように考えていますか。

水沼町長

今回、非常に短い期間の中で決断をし、実行しました。

今後必要であれば、情報を得ながら連携していきたいと考えています。

質問

今回の行政視察の成果と今後の展望についてお聞きします。

水沼町長

農産物、水産物も今

循環型経済の施策の推進を

西原議員

産業振興部長 今後基本方針を策定していきます

西原 浩議員

中小企業振興条例が制定され、その振興のための施策が整備されているところですが、町独自の景気対策についてお聞きします。

後は付加価値をつけて輸出に力を入れていくべきと考えています。観光産業も、地域経済を担っていく発展の

可能性を秘めた産業であると考えています。今回の訪問を契機として、観光・産業・人材・文化などの当町の

飯島産業振興部長

今年度も実施しているエコ住宅、地域貢献中小企業支援や企業化支援、太陽光発電などを継続していきます。

また、中小企業利子補給支援事業を継続し、融資返済の負担軽減を図りながら、経営安定に向けた支援を考えています。

質問

今回、町職員の期末手当等の引き下げがありました。一方で、二十一年度の決算で収支差額が六億円ほどになり、三億円が財政調整基金に繰り入れられました。

例えば、地域振興券など個人消費を喚起させるような施策を検討してはいかがでしょうか。

発展に寄与することができる交流が可能であるとの感触を得ることができました。

水沼町長

職員の給料に関して は人事院勧告を遵守していくのが基本線だと考えています。

財政調整基金が増えたといっても、まだ十分ではありません。町民福祉、産業の振興、自立の道を歩むための財源を確保したいと考えています。

質問

地域の活性化のためには循環型経済を推進する政策が必要ではないかと考えますが。

飯島産業振興部長

中小企業の皆さんの協議会から提言書をいただいで、今後基本方針の策定に向けて検討していきます。

佐藤議員

代替バス路線変更で地域の活性化を

総務部長 路線変更は厳しいです

佐藤初雄議員

標津線廃止から二十二年が経過しました。交通路線確保のため各自自治体が赤字を負担しています。そうした中、別海市街内の循環路線見直しが実施され、路線数および集客数の現状は。

小守総務部長

(答弁を別表にまとめ

別表 バスの路線数と集客数 (4~9月実施1日当たり)

阿寒バス

路線	人数
標津標茶線	117.0
標津中標津線	2.9
中標津西春別線	3.6
計根別標津線	13.6
中標津計根別線	10.3
西春別標津線	3.6

根室交通

路線	人数
厚床中標津線	38.0

ました。

質問

西春別駅前地域の商店街活性化や診療所のさらなる利便性向上による収益性確保、公民館などの交流人口増による活性化などのため、虹別地域を新規に加えた路線の経由地の変更を目指す考えますが。

小守総務部長

標津線代替輸送連絡調整協議会で協議し、決定することになって

公共施設のバリアフリー化への改善が必要では

佐藤議員

教育部長 計画的に整備していきます

佐藤初雄議員

共に汗を流し、共に繁栄できる町づくりの構築が強く求められ、公共施設の果たす役割は計り知れず、特に障

おり、当町だけの判断では非常に厳しいことをご理解ください。

質問

今後に向けてどのような対応、考えがあるかお聞きします。

小守総務部長

今後、協議会に話を

別表 公共施設のバリアフリーの現状

福祉関係

施設区分	施設数	数
階段手すり設置	30	29
エレベーター設置	-	3
スロープ設置	-	22
玄関バリアフリー	-	4
障がい者用トイレ設置	60	27

社会教育施設

施設状況	数
完全バリアフリー化	6
玄関スロープ・身障者トイレ無し	4
身障者トイレ無し	3
玄関スロープ・身障者トイレ完全ではない	4

学校関係施設

施設状況	数
玄関スロープ・身障者用トイレ設置	5
玄関スロープのみ設置	1
玄関スロープ・身障者用トイレ未設置	12
階段手すり設置	17
車椅子用ステップリフト設置	2
階段の昇降電動型・車椅子用設置	1

がい者、高齢者への対応を兼ね備えた施設づくりが必要です。現状はどうなっていますか。

田村福祉部長

だれでも利用しやすいまちづくり、施設づくりに取り組んでいきます。

根本教育部長

利用状況を見ながら、計画的な整備を検討していきます。教育関係施設は別表の通りです。

田村福祉部長

公共施設は百以上あり、うち六十施設を調査した結果は、別表の通りです。

質問

西公民館を含め、改善計画が必要では。



障がいのある人も自由に移動できる校舎が望ましい

ハサップ取得ではなく道の認証で充分では

丹羽議員

産業振興部長 安全を確保するため
ハサップ取得をめざします

飯島産業振興部長

農漁村加工体験施設、乳加工体験施設は、町直営で指定管理者制度を適用し、酪農工場本体は、独立民間企業として経営拡大を目指す考えです。

質問

中標津農協の乳製品が、学校給食に供給となつた場合、金額的に減額になると思いますか。

飯島産業振興部長

中標津町で約二千五十万円程度の減額になります。町も含めていろいろPR、販路拡大に努めていきます。

質問

町が行った経営診断の仕様書から、ハサップ認証取得に関する事項をはずしてまで、取得に自信を持っておられましたか、現在の進捗状況と、認証取得が遅れている理由、今後

のスケジュール、考え方をお聞きます。

飯島産業振興部長

牛乳は一般的に日持ちがしません。五日間程度の消費期限なら現在でも取得できますが、八日間の賞味期限をクリアするためにハサップ取得を進めています。

質問

中山間事業から販売促進用の無料サンプルが出ています。また、旅費交通費も支出されています。本来は酪農工場の経費ですが、事業報告書からも抜けています。連結決算の関係から経理処理を要する必要があると思いますが。

飯島産業振興部長

酪農工場を建てたいきさつから、消費拡大運動を応援する趣旨で集落からお金を提供しています。

乳業興社の決算は会計士も入って処理しているのではないと思

います。

丹羽議員

郊楽苑を増設する予定は

産業振興部長

実現は困難と考えます

丹羽勝夫議員

郊楽苑営業再開にあつて、二階建の宿泊棟を現在の倍の二十二室にする予定との記事がありました。観光産業として滞在型が望まれる中で、一堂に宿泊できるところも必要だと思います。

しかし、競合する既存のホテル、旅館には大きな痛みになることが予想されます。契約上どちらが増設費を負担することになりますか。

飯島産業振興部長

将来的に経営改善、

する手出しは、どの程度と推察されますか。

飯島産業振興部長

以前は管理運営費として約五千五百万円、その他施設整備があれば負担してきましたが、現在はメタンガス対策六百七十万円、補修改善三千二百四十四万円などで、合計で今のところ三千九百八十二万円ほどかかっています。

質問

まだ民営化になつて数か月しかたつてませんが、現段階で以前の比較で、町が郊楽苑に対



配管の修理が完了した郊楽苑



完成し集客が期待される道の駅「おだいとう」

丹羽議員

「道の駅」の駅名は

産業振興部長

駅名は「おだいとう」です

丹羽勝夫議員

当町の観光客の入り込み数の何割が宿泊していますか。

滞在型の修学旅行、合宿など受け入れ窓口体制の一元化が必要です。

飯島産業振興部長

二十一万七千人程の入り込み数ですが、そのうち宿泊数は二万五千二百人です。

今後は酪農体験、宿泊体験などの体験型観光が重要であるという観点から、受け入れ体制や組織作りに取り組んでいきたいと考えています。

水沼町長

観光に携わる町民と町の協働で魅力ある観光資源を開発し、PRし全体に取り組んでいきたいと思えます。

質問

尾岱沼にできる「道の駅」の

駅名は。

売り込みのキャッチフレーズ、地場産品の販売方法は。

飯島産業振興部長

駅名はひらがなで「おだいとう」です。

地場産品の販売もスペースが小さいため見本を置いて後で発送することや、必要ならば野外テントの利用も考えています。

質問

今後、別海町の広い土地を売りに、山にも「道の駅」があつていいのではないか。そこにある展望台を活用し、近くには、体験型酪農研修牧場もあり、お金のかからない「道の駅」ができそうですが。

水沼町長

二つ目の「道の駅」は必要と考えますので、将来的に一番有効な場所などを今後の検討課題とします。

国保税徴収猶予基準 拡大の周知を

灌川議員

福祉部長 今後周知していきます

灌川榮子議員

国民健康保険の窓口一部負担金減額、徴収猶予制度の新たな基準が出され、厚労省は対象の拡大を通知しました。

町民への周知が必要では。

田村福祉部長

周知不足なので、広報やポータルサイトで周知していきます。

質問

滞納世帯、資格証明書を持つ世帯でも基準に当てはまれば適用してよいと考えています。本人の希望があれば、「生活保護への移行も考慮」もできるとあります。対応の必要がありませんか。

田村福祉部長

対象の大前提は災害や失業で生活が著しく困難な方です。滞納者の減免・猶予は別にとこの指導もありますのでやっていきます。

質問

国民健康保険の広域化の報道で、法定外繰り入れの全廃を指摘する声があります。その時の影響をどのように考えていますか。

田村福祉部長

将来の医療制度が確定していない中で、法定外繰り入れが無くなることは想定していません。

質問

都道府県への広域化に対するアンケートでも反対と答えています。当町の回答は。

田村福祉部長

町としては今のところ反対の意思は示していません。

質問

法定外繰り入れをしなくなり、加入者が負担することになると、大変な事態となります。これ以上の値上げには耐えられないという住民の声を町はどのように考えますか。

水沼町長

国保会計は厳しいながらも一般会計から繰り入れ、また、皆さんの負担も求めながら何とかやっています。できるだけ値上げはせず、値下げをしたいのですが、現状はそうなっていません。

瀧川議員
**高校生の就職・
 進学支援は**

教育長 奨学資金制度

改善を検討します

瀧川榮子議員

就職希望者は三十五名です。そのうち就職内定者は二十三名で、町内に残るのは四名という状況です。

若者の町外流出対策として、子どもたちが就職した町内企業への支援など検討していますか。

飯島産業振興部長

検討していますが、実施にはいたっていません。

質問

進学支援としての奨学金制度を広く知らせることが必要と考えますが。

根本教育部長

奨学資金貸付制度の周知拡大、進学担当の先生方への協力要請をしていきたいと考えています。

質問

町の奨学金は返還期間が短く、償還が遅れた場合の利息は八・五%です。

利用者も少なくなっており、改善が必要ではありませんか。

山口教育長

改正から六年たち見直しの時期ではないかと思われ、検討します。

質問

奨学金利用の生徒が町に就職した時、医療

系の学校と同じく奨学金の免除も含めて検討が必要ではないかと考えます。

根本教育部長

不公平にならないよう適切に運用していきます。

質問

減免制度があるのに知らなければ申請もできません。

山口教育長

これからの子どもたちのために奨学資金を残しておくことも勘案しながら、いい方向に進めていきます。

瀧川議員
**町の障がい者
 施策の現状は**

福祉部長 総合的な事業
 展開を検討します

瀧川榮子議員

道は障がい者の人権

質問

障がい者が自分の住みたい所に住める、暮らしやすい地域づくり

擁護、生活支援などに向けた環境の整備、暮らしやすいまちづくりなどに関する条例を制定しました。

田村福祉部長

当町では国の障がい者基本法に基づいて、障がい者計画を作っています。

質問

障がい者の移動支援について、改善が必要

と思いますが。

田村福祉部長

障がい者を対象とする移動手段の確保については、無料バス・福祉ハイヤー利用券などを交付しています。

現行の事業を含めた総合的な事業展開をさらに検討する必要があります。

田村福祉部長

障がい者計画の推進課題は順次整理していきます。

国の交付金を活用し、障がい者の通年就業場の確保、地域の人の相互交流や連携の場として複合的な施設確保を検討したいと考えているところです。



真心がこもっているからおいしいお菓子ができます (スワンの家)

議会のうごき

3常任委員会合同アカデミー事業

(平成22年10月12日～14日 江別・白老)



当町を含め3市町村の議員が研修（白老町）

本年度二回目となる3常任委員会アカデミー事業を行い、当町と「連携と協力に関する協定」を締結している北海道立食品加工研究センター（江別市）と、当町議会で進めている議会活性化等の参考とするため、白老町議会の取り組みについて研修しました。

■道立食品加工研究センター

同センターの業務、北海道の豊かな農畜水産物資源、食品工業の現状、食に対する取り組みなど詳細な説明や、研究センターとの共同開発や現地技術支援により生まれた製品の紹介を受けました。今後、当町とセンターとがより連携を深め、共同事業に取り組んでいくことを期待します。

■白老町議会

白老町議会は、全国的にも議会改革の先進地であることから、研修の希望も多く、この日は当町を含む三市町村（愛媛県伊予市、長野県富岡村）の議会議員、総勢三十六人での合同研修となりました。

白老町議会は、議会のチエック機能を充実させることを目的とした通年議会の開催、住民に親しまれる議会づくりを目的とした委員会の地域別開催、議員の出勤トーク、休日・夜間議会の開催などを実行しています。また、町民に開かれた議会づくりとして、議会単独のホームページ開設などに取り組んでいます。

これらの説明を受け、白老町議会は、より積極的な議会情報の公開など、公聴活動には特に力を入れていると感じました。

二時間の研修ではありましたが、実践者である議員の説明は、議会活性化を推進する上で、非常に参考になりました。（松原委員）

一部事務組合・広域連合の議会報告

十二月八日、中標津町議会において、一部事務組合等の定例議会が開かれました。審議の内容は、主に平成二十一年度の会計決算認定についてでした。

いずれも全員の賛成で認定されました。

中標津町外二町葬斎組合

●歳入総額（収入済額）	6044万 241円
●歳出総額（支出済額）	6044万 241円
	差し引き残額 0円

根室北部消防事務組合議会

●歳入総額（収入済額）	14億7358万7000円
●歳出総額（支出済額）	14億7358万7000円
	差し引き残額 0円

根室北部廃棄物処理広域連合議会

●歳入総額（収入済額）	6億3384万4714円
●歳出総額（支出済額）	6億3187万7734円
	差し引き残額 196万6980円

協働の まちづくりへ



「ふゆとぴあ」の雪合戦のあと 記念写真をパチリ

若い力で
町を盛り上げよう!!

別海町青年団体協議会 会長 河嶋 和也

現在、別海町青年団体協議会（別青協）は八十人で活動しています。

私たちは、様々な職種の間と語り合い、「ふゆとぴあ」等の行事に積極的に取り組んでいます。また、根室管内の代表として、「全道青年大会」、「全道青年祭」等に参加しています。もちろん別海町の良いところをPRするよう努めています。

今、全国的に見ても、青年団に所属する人が激減していると聞きます。それは、少子化の影響もありますが、何よりも青年団の存在を知らない、青年団の良さを知らないという点にあると思います。

今年の五月二十一、二十二日に中央公民館で行う「全道青年祭」では、和太鼓、合唱、ダンスなど様々な発表で青年のパワーを感じ取れると思います。青年に限らず、たくさんの人たちに見に来ていただきたいです。そして、興味を持ってくれた方、楽しいことをしたい方は、是非入会していただくと幸いです。

今現在、別青協の会員の大半が、酪農後継者と農協職員です。これからもっともっと活動的に町の行事に参加していきたいと思っているので、役場、漁協、そして他の職業の方々にも参会していただき、より楽しい会にしていきたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願いたします。

編集後記



元旦に届いた年賀状の図柄はやはり干支のうさぎが圧倒的に多かった。軽やかに跳躍するその姿からは打ち続く沈滞ムードを吹き飛ばしたいとの願いが伝わってきます。

百四十年ほど前、明治五年「ウサギバブル」景気が発生し、うさぎ一匹に屋敷一軒の値がついたという話があります。景気が良くなるのに越したことはありません。「うさぎ年は株価が上がる」と言われています。「うさぎ年の格言」
(松原委員)

あけましておめでとございます。年末・年始とも暖かく穏やかな天候が続き、大変良いお正月でした。(スケートリンク管理には大変苦労されたようですが・・・)
さて、私たち広報委員会・現メンバーでの仕事も、この五十六号と三月議会の様子をお伝えする五十七号の編集をもって終了します。
より一層力を入れて、最後の仕事に取り組みでいきたいと思えます。

(中村委員)

TPP交渉参加は町民一丸となった運動で断固阻止しよう!!